

# かかりつけ医等 発達障がい者地域包括支援研修

医療法人コミュニテ 風と虹

のぞきの丘病院

堀川 直希

のぞへの丘病院  
について



# のぞえの丘病院

2019年に新築移転。

精神科救急病棟；48床

（周産期の支援にも力を入れ、精神科では初めて母子同室入院を行なっている）

児童思春期病棟；25床

（2019年9月に福岡県で初めて認可）





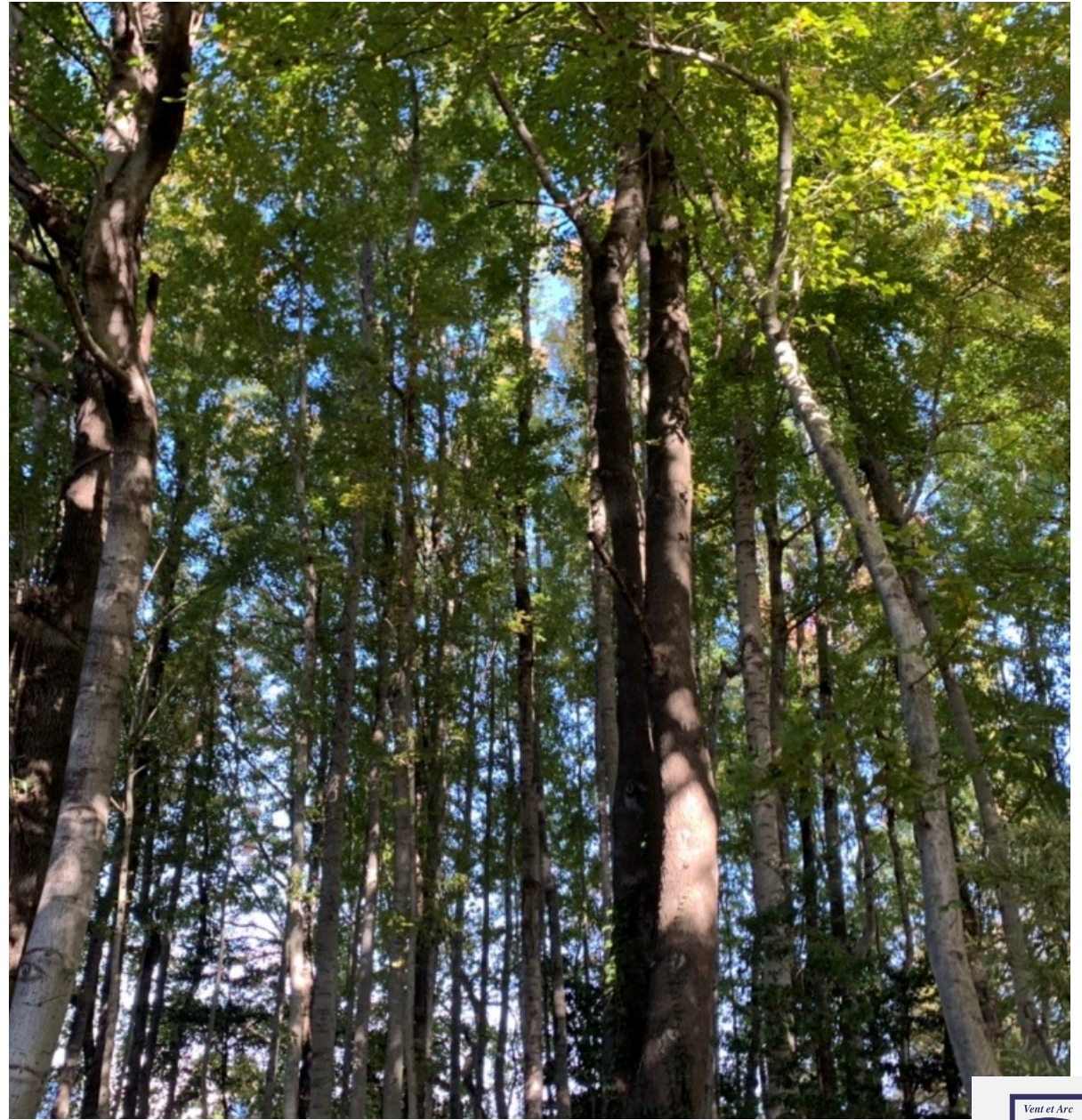


# 院内学級（分教室）

小学校2クラス、中学校3クラス

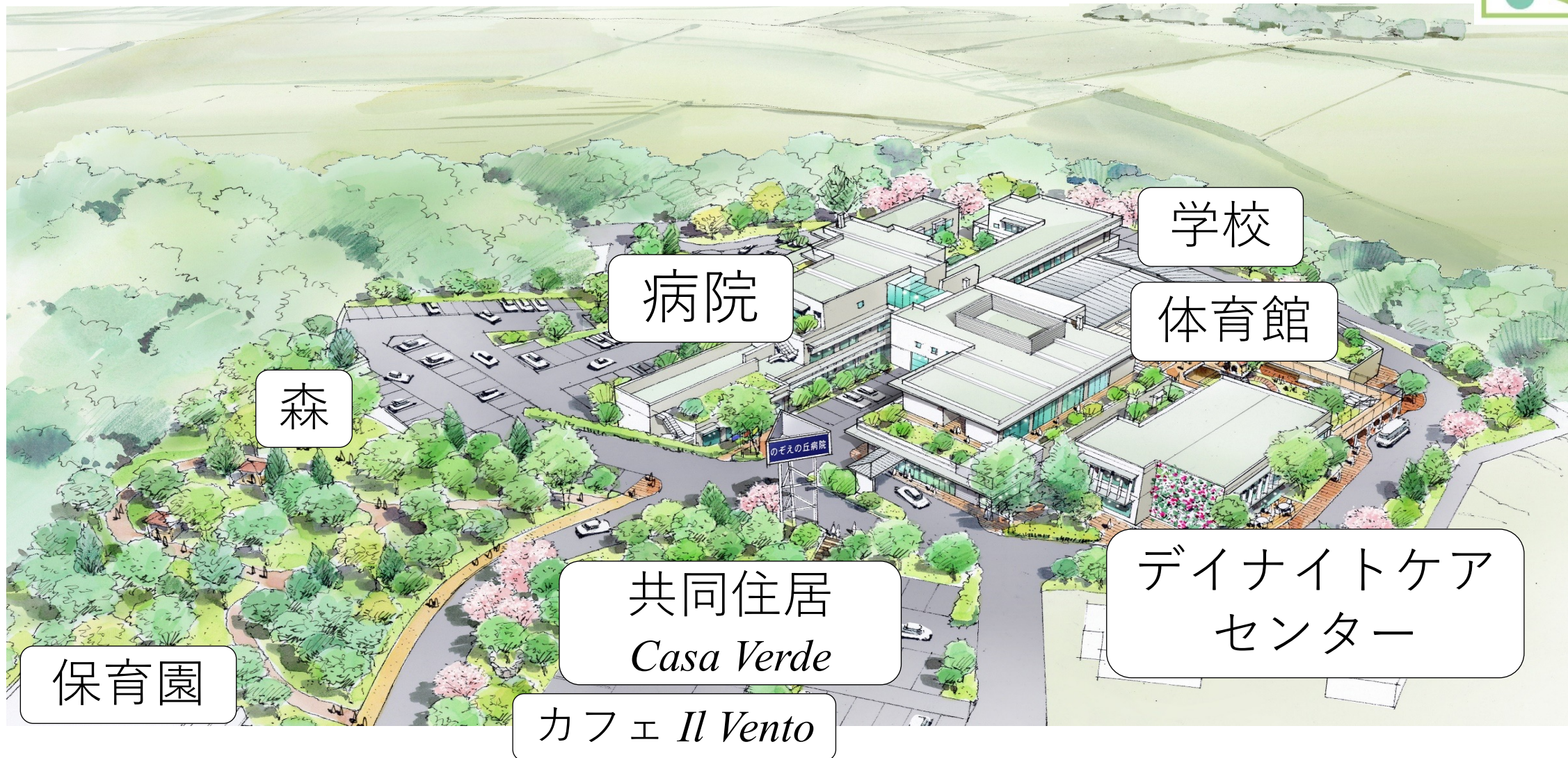








# 『のぞえ 風と虹の街』





# 『地域生活支援システム』 のぞえの丘病院 ver.

住居プログラム  
『Casa Verde』 etc.



のぞえの丘病院



デイケアセンター『ユリ コーレ』  
児童思春期デイケア



院内学級 『風・虹』



のぞえの森  
保育園



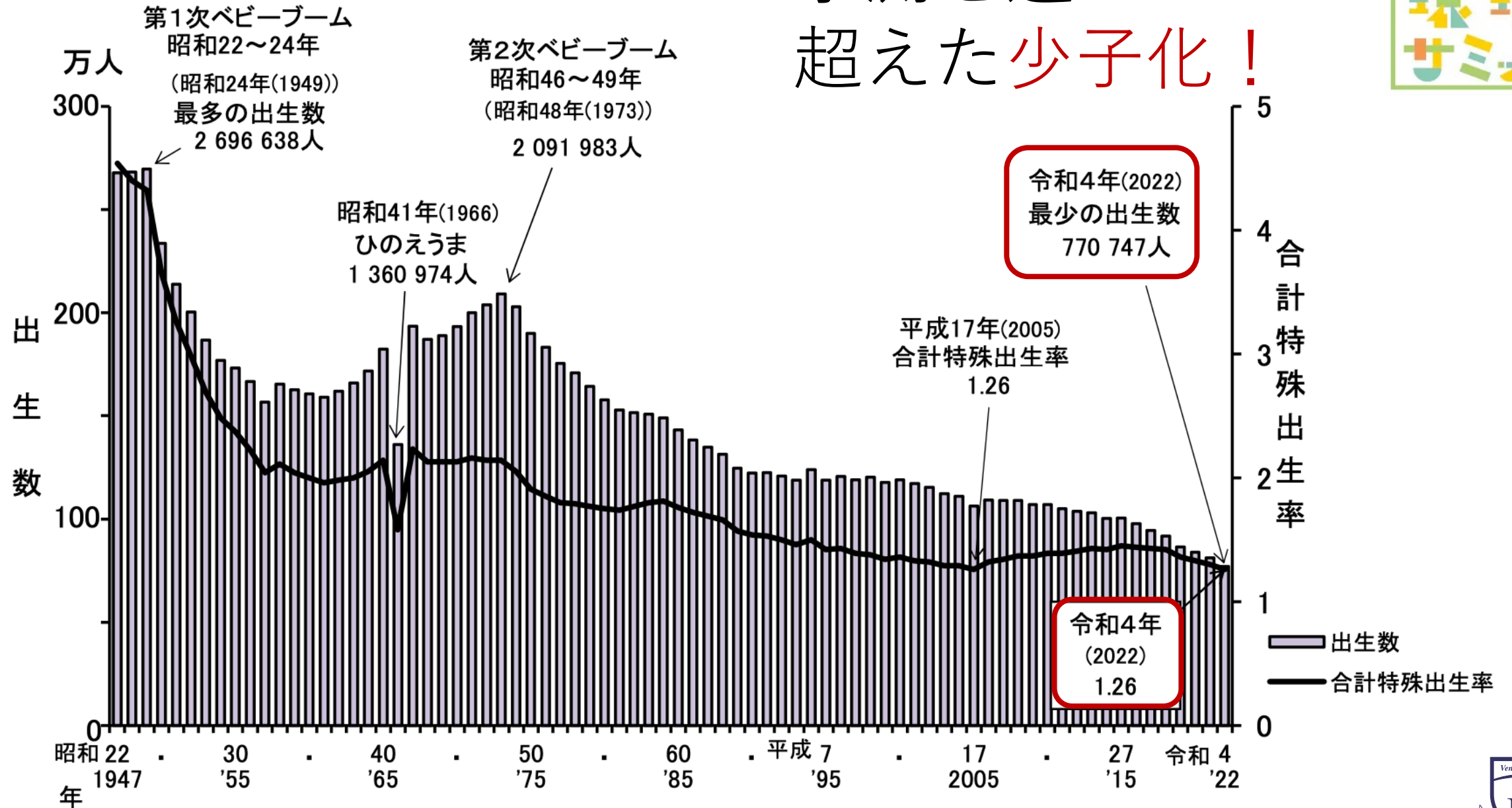
訪問看護ステーション  
『風と虹』

就労支援事業所  
『レストラン 風と虹』  
『カフェ 風樹』 『カフェ イル・ヴェント』



# 子どもをめぐる 各種統計

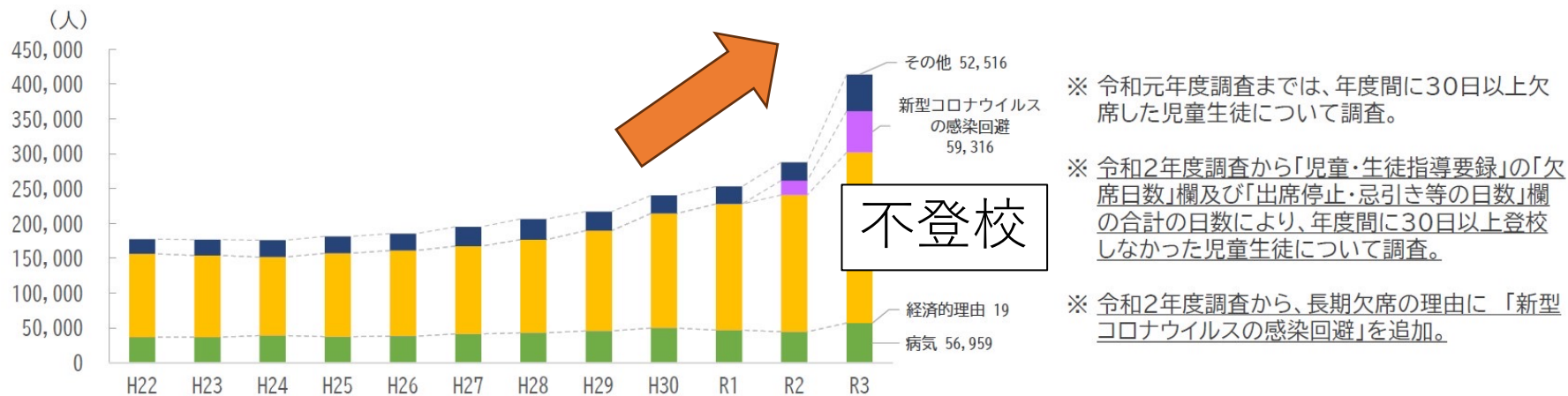
# 予測を遥かに 超えた少子化！



# 小・中学校における長期欠席の状況について

- 小・中学校における長期欠席者数は413,750人(前年度287,747)。
- このうち不登校によるものは**244,940人**(前年度196,127人)、  
新型コロナウイルスの感染回避によるものは**59,316人**(前年度20,905人)となっている。

## 小・中学校における長期欠席者数の推移



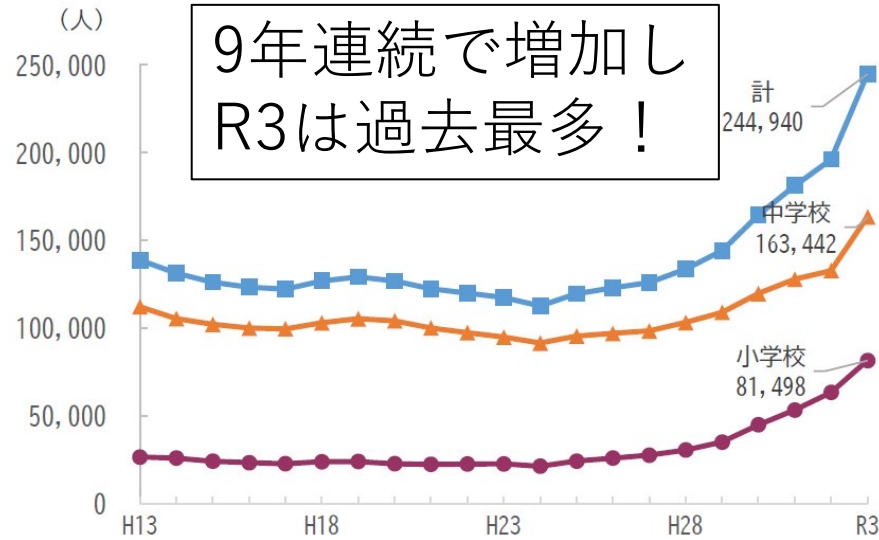
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	病気	19,611	19,595	20,335	18,763	18,981	19,946	20,325	21,480	23,340	20,955	18,539	22,307
	経済的理由	43	47	34	30	25	18	12	9	15	11	13	7
	不登校	22,463	22,622	21,243	24,175	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350	81,498
	新型コロナウイルスの感染回避	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	その他	10,477	12,076	12,340	12,518	12,992	15,544	16,308	15,997	15,837	15,773	17,606	34,100
計	52,594	54,340	53,952	55,486	57,862	63,091	67,093	72,518	84,033	90,089	113,746	180,875	
中学校	病気	16,810	16,928	18,581	18,668	18,870	21,118	22,488	23,882	26,284	25,779	25,888	34,652
	経済的理由	86	72	57	55	39	31	17	18	9	19	20	12
	不登校	97,428	94,836	91,446	95,442	97,033	98,408	103,235	108,999	119,687	127,922	132,777	163,442
	新型コロナウイルスの感染回避	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	その他	10,452	10,497	11,733	11,669	11,247	12,250	13,460	11,623	10,026	9,016	8,649	18,416
計	124,776	122,333	121,817	125,834	127,189	131,807	139,200	144,522	156,006	162,736	174,001	232,875	
計	病気	36,421	36,523	38,916	37,431	37,851	41,064	42,813	45,362	49,624	46,734	44,427	56,959
	経済的理由	129	119	91	85	64	49	29	27	24	30	33	19
	不登校	119,891	117,458	112,689	119,617	122,897	125,991	133,683	144,031	164,528	181,272	196,127	244,940
	新型コロナウイルスの感染回避	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	その他	20,929	22,573	24,073	24,187	24,239	27,794	29,768	27,620	25,863	24,789	26,255	52,516
計	177,370	176,673	175,769	181,320	185,051	194,898	206,293	217,040	240,039	252,825	287,747	413,750	



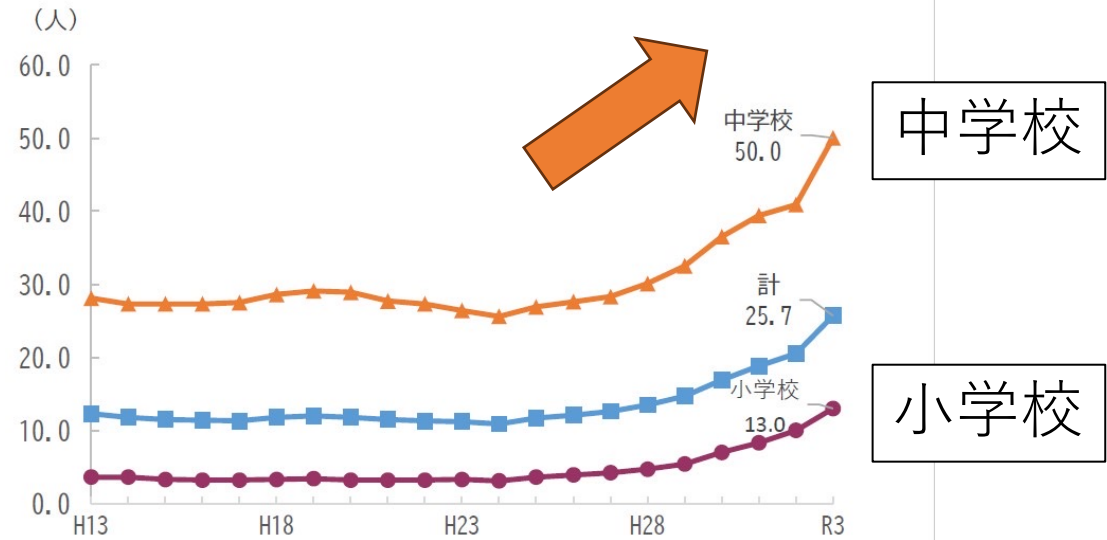
# 小・中学校における不登校の状況について

- 小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は244,940人(前年度196,127人)であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は25.7人(前年度20.5人)。
- 不登校児童生徒数は9年連続で増加し、過去最多となっている。

不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)

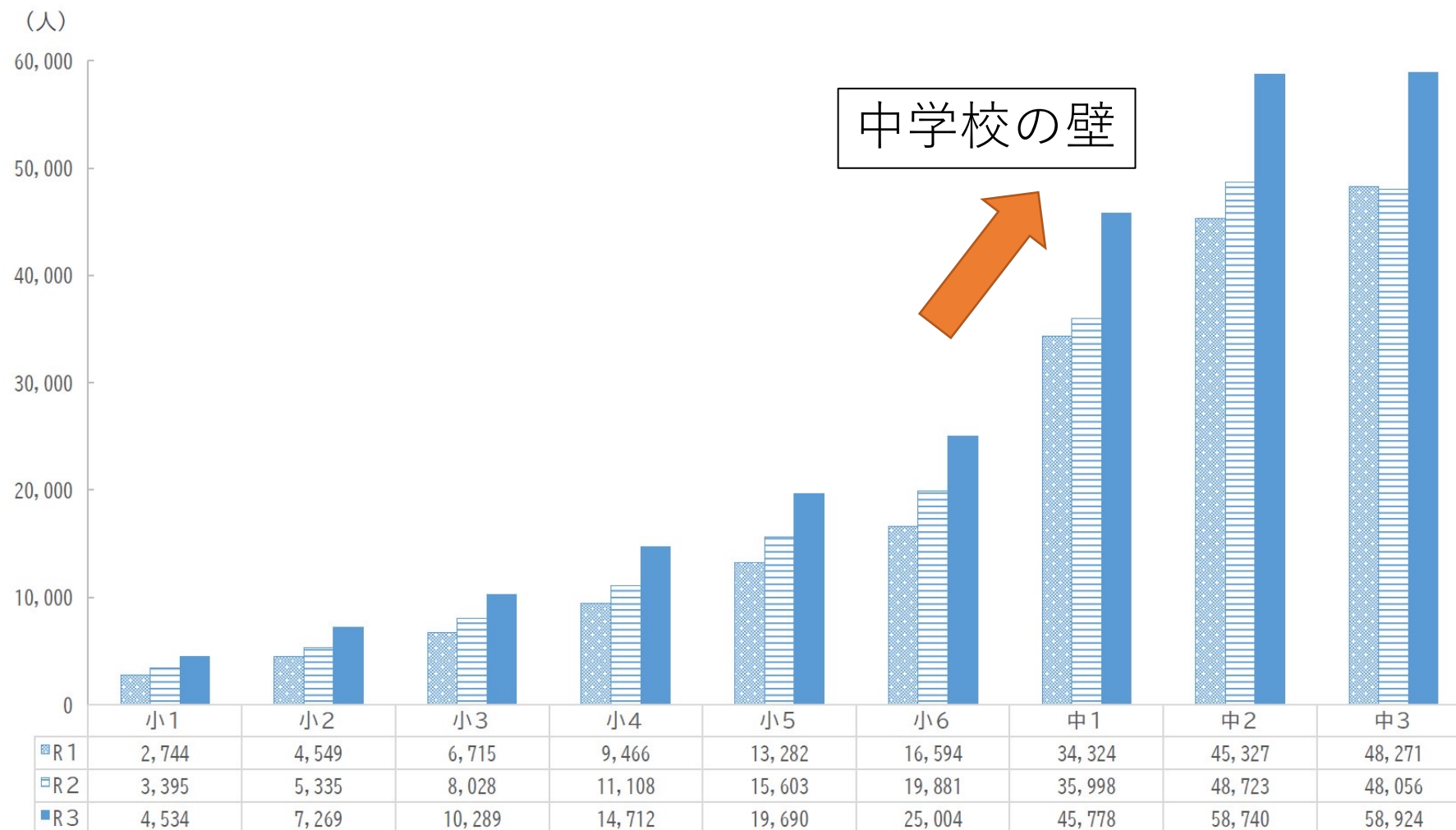


不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	26,511	25,869	24,077	23,318	22,709	23,825	23,927	22,652	22,327	22,463	22,622	21,243	24,175	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350	81,498
	3.6	3.6	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.3	3.1	3.6	3.9	4.2	4.7	5.4	7.0	8.3	10.0	13.0
中学校	112,211	105,383	102,149	100,040	99,578	103,069	105,328	104,153	100,105	97,428	94,836	91,446	95,442	97,033	98,408	103,235	108,999	119,687	127,922	132,777	163,442
	28.1	27.3	27.3	27.3	27.5	28.6	29.1	28.9	27.7	27.3	26.4	25.6	26.9	27.6	28.3	30.1	32.5	36.5	39.4	40.9	50.0
計	138,722	131,252	126,226	123,358	122,287	126,894	129,255	126,805	122,432	119,891	117,458	112,689	119,617	122,897	125,991	133,683	144,031	164,528	181,272	196,127	244,940
	12.3	11.8	11.5	11.4	11.3	11.8	12.0	11.8	11.5	11.3	11.2	10.9	11.7	12.1	12.6	13.5	14.7	16.9	18.8	20.5	25.7

# 小・中学校における不登校の状況について

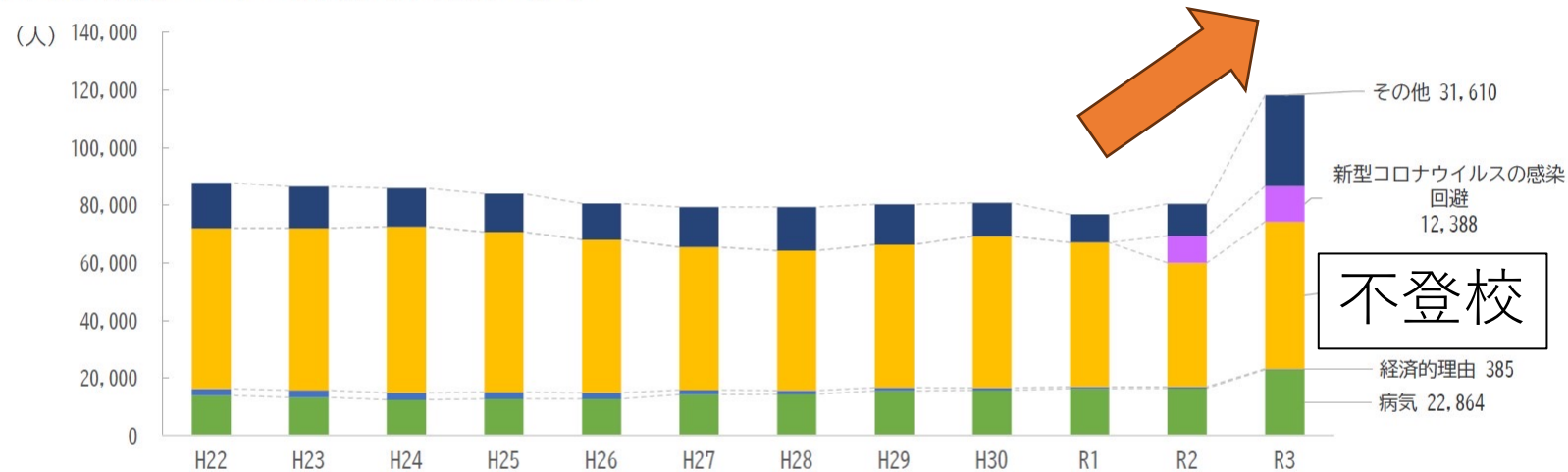
## 学年別不登校児童生徒数



# 高等学校における長期欠席の状況について

- 高等学校における長期欠席者数は118,232人(前年度80,527人)。
- このうち不登校によるものは50,985人(前年度43,051人)、新型コロナウイルスの感染回避によるものは12,388人(前年度9,382人)となっている。

## 高等学校における長期欠席者数の推移



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
病気	14,010	13,277	12,457	12,794	12,821	14,266	14,394	15,632	15,812	16,358	16,521	22,864
経済的理由	2,278	2,464	2,405	2,281	2,044	1,606	1,263	1,036	764	644	429	385
不登校	55,776	56,361	57,664	55,655	53,156	49,563	48,565	49,643	52,723	50,100	43,051	50,985
新型コロナウイルスの感染回避	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	9,382	12,388
その他	15,724	14,424	13,357	13,235	12,592	13,922	15,169	14,002	11,453	9,673	11,144	31,610
計	87,788	86,526	85,883	83,965	80,613	79,357	79,391	80,313	80,752	76,775	80,527	118,232

- ※ 令和元年度調査までは、年度間に30日以上欠席した生徒について調査。
- ※ 令和2年度調査から「生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、年度間に30日以上登校しなかった生徒について調査。
- ※ 令和2年度調査から、長期欠席の理由に「新型コロナウイルスの感染回避」を追加。

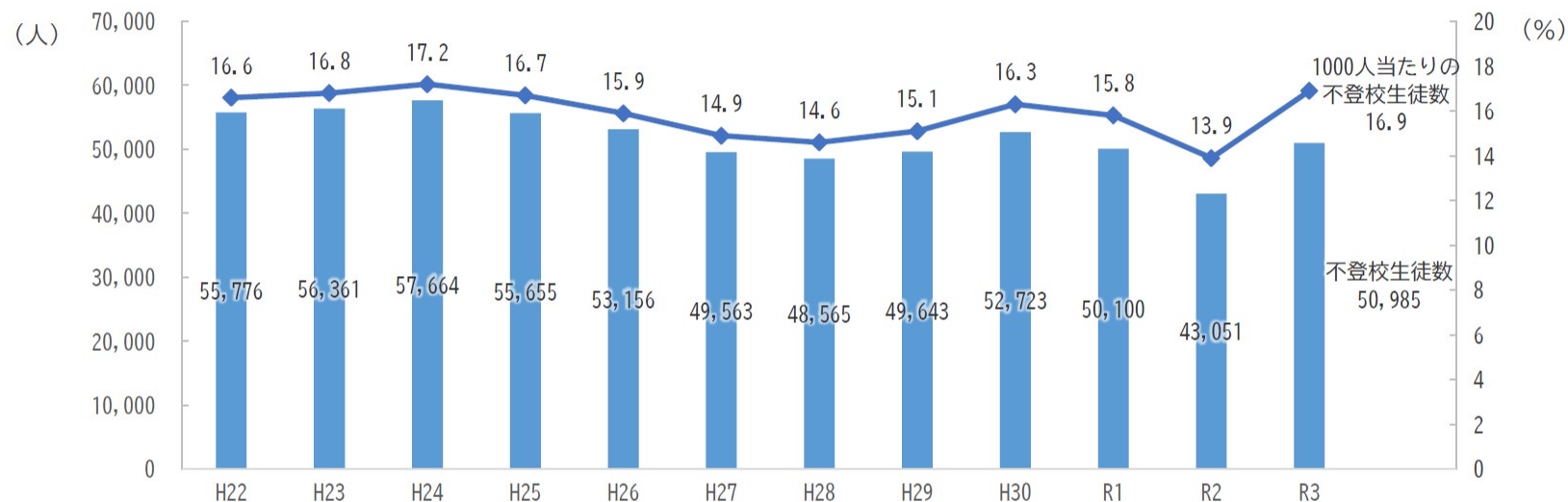


# 高等学校における不登校の状況について

- 高等学校における不登校生徒数は50,985人(前年度43,051人)であり、1,000人当たりの不登校生徒数は、16.9人(前年度13.9人)である。

90日以上欠席は  
不登校生徒の17.6%

## 不登校生徒数の推移



- 90日以上欠席した者は、不登校生徒数の17.6%である。

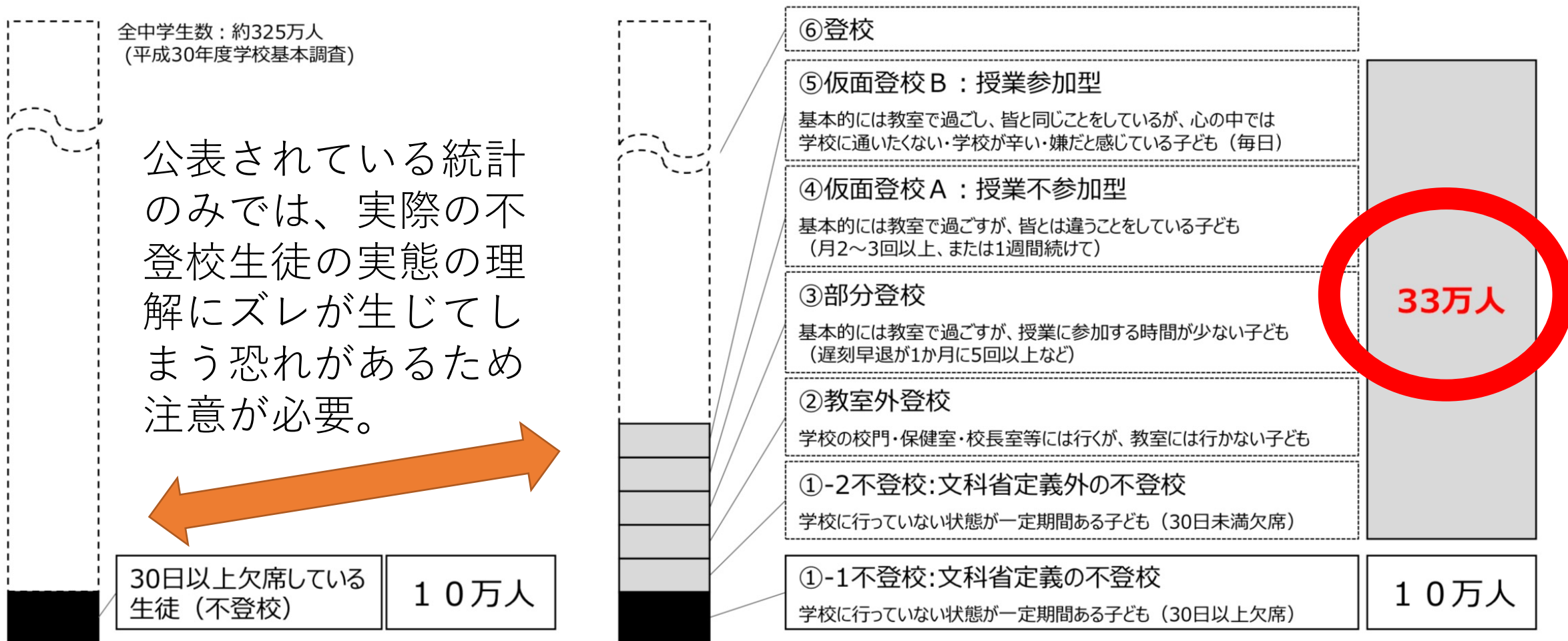
区分	欠席日数30～89日の者		欠席日数90日以上で出席日数11日以上の方		欠席日数90日以上で出席日数1～10日の者		欠席日数90日以上で出席日数0日の者		不登校児童生徒数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
国公立計	42,037	82.4%	7,150	14.0%	1,186	2.3%	612	1.2%	50,985

	国公立計	不登校生徒数に対する割合
不登校生徒のうち中途退学に至った者	8,940	17.5%
不登校生徒のうち原級留置になった者	3,006	5.9%

※ 出席日数については、学校に登校した日数であり、例えば自宅においてICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした場合など、出席扱いとした日数は含まない。

文部科学省調査（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）との違いイメージ

- 学校ではなく、子どもから実態を調査。
- 不登校傾向にある中学生（年間欠席数は30日未満）は約33万人と推計。

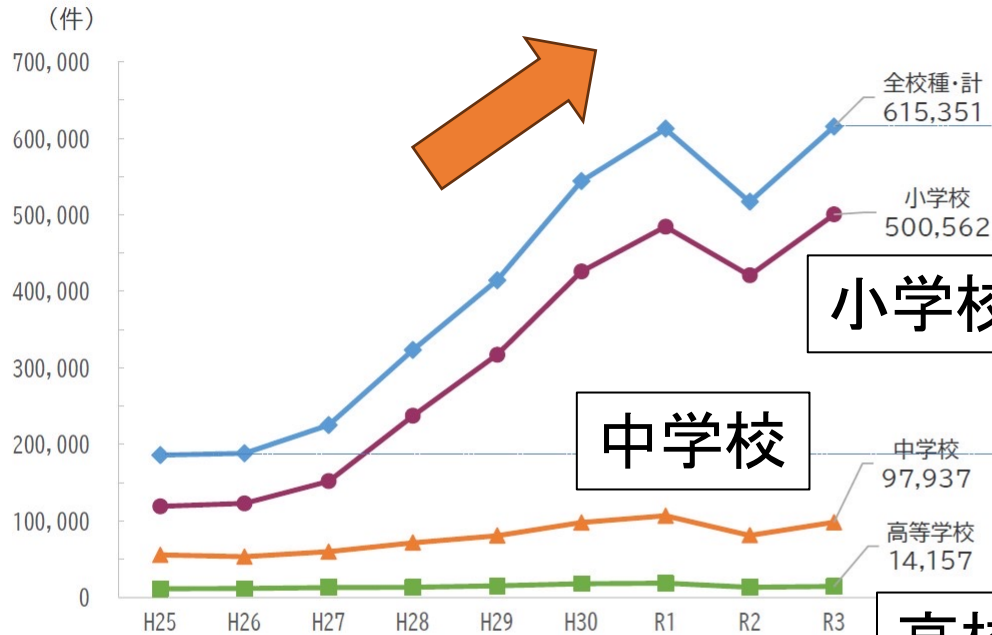


**文部科学省調査**  
(学校、教育委員会による回答)

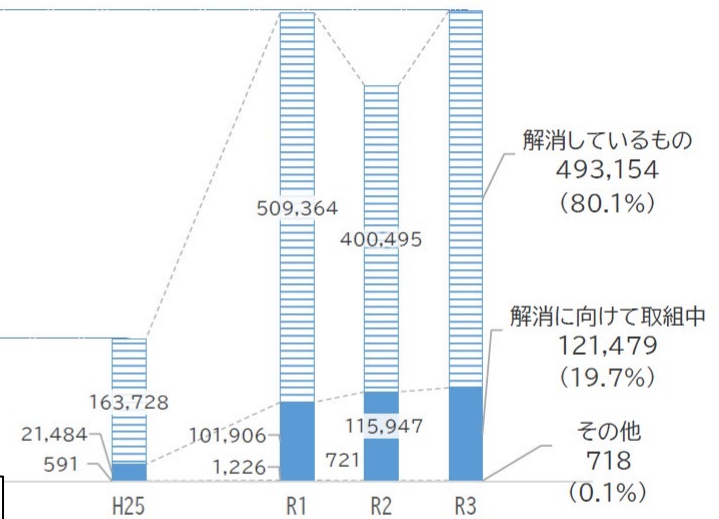
**日本財団調査**  
(中学生が回答)

# いじめの状況について

## いじめの認知件数の推移



## いじめの解消状況の推移(各年度末時点)



年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	118,748 17.8	122,734 18.6	151,692 23.2	237,256 36.5	317,121 49.1	425,844 66.0	484,545 75.8	420,897 66.5	500,562 79.9
中学校	55,248 15.6	52,971 15.0	59,502 17.1	71,309 20.8	80,424 24.0	97,704 29.8	106,524 32.8	80,877 24.9	97,937 30.0
高等学校	11,039 3.1	11,404 3.2	12,664 3.6	12,874 3.7	14,789 4.3	17,709 5.2	18,352 5.4	13,126 4.0	14,157 4.4
特別支援学校	768 5.9	963 7.3	1,274 9.4	1,704 12.4	2,044 14.5	2,676 19.0	3,075 21.7	2,263 15.9	2,695 18.4
計	185,803 13.4	188,072 13.7	225,132 16.5	323,143 23.8	414,378 30.9	543,933 40.9	612,496 46.5	517,163 39.7	615,351 47.7

## 高校

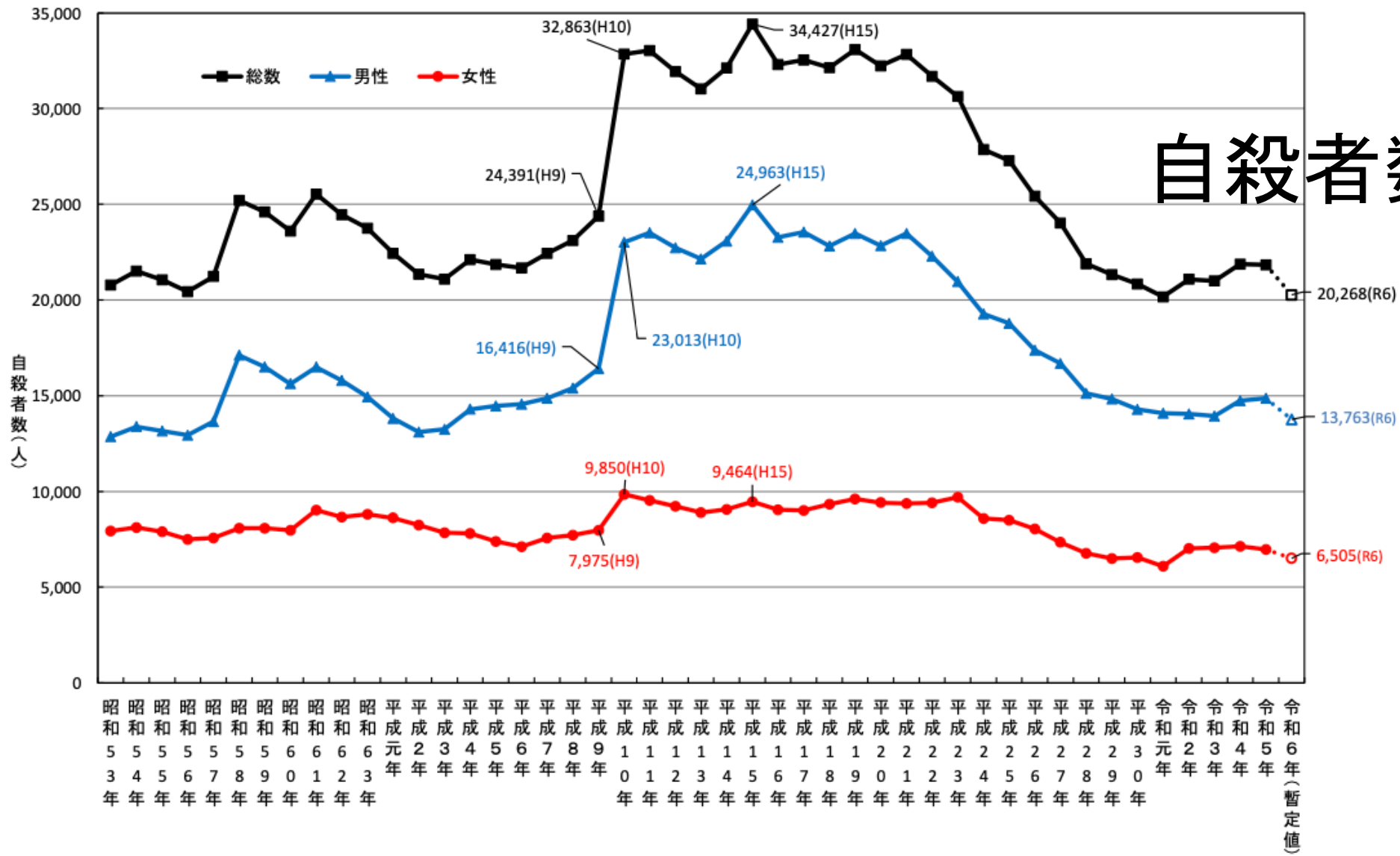
- 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は615,351件(前年度517,163件)であり、前年度に比べ98,188件(19.0%)増加している。
- 児童生徒1,000人当たりの認知件数は47.7件(前年度39.7件)である。
- 年度末時点でのいじめの状況について、**解消しているものは493,154件(80.1%)**であった。

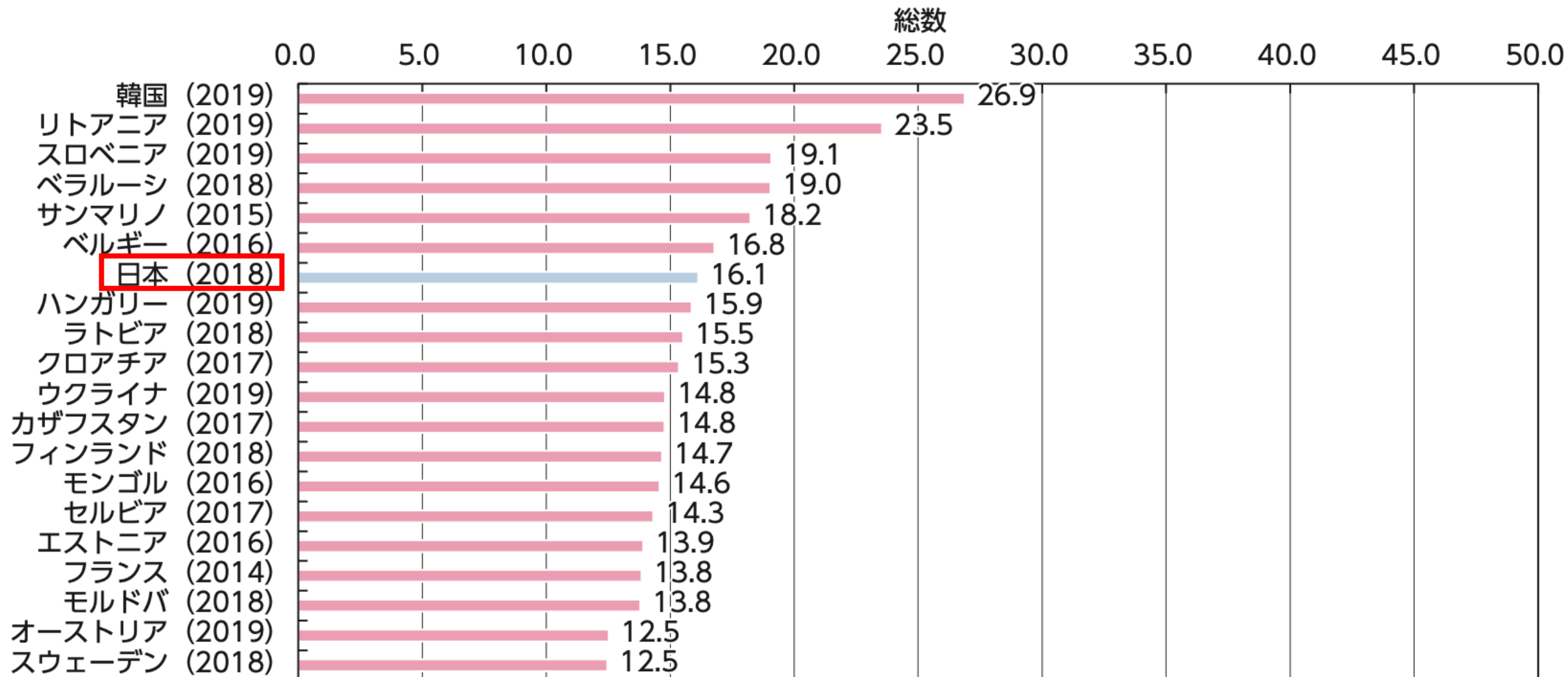
※ 上段は認知件数、下段は1,000人当たりの認知件数





# 自殺者数 ↓





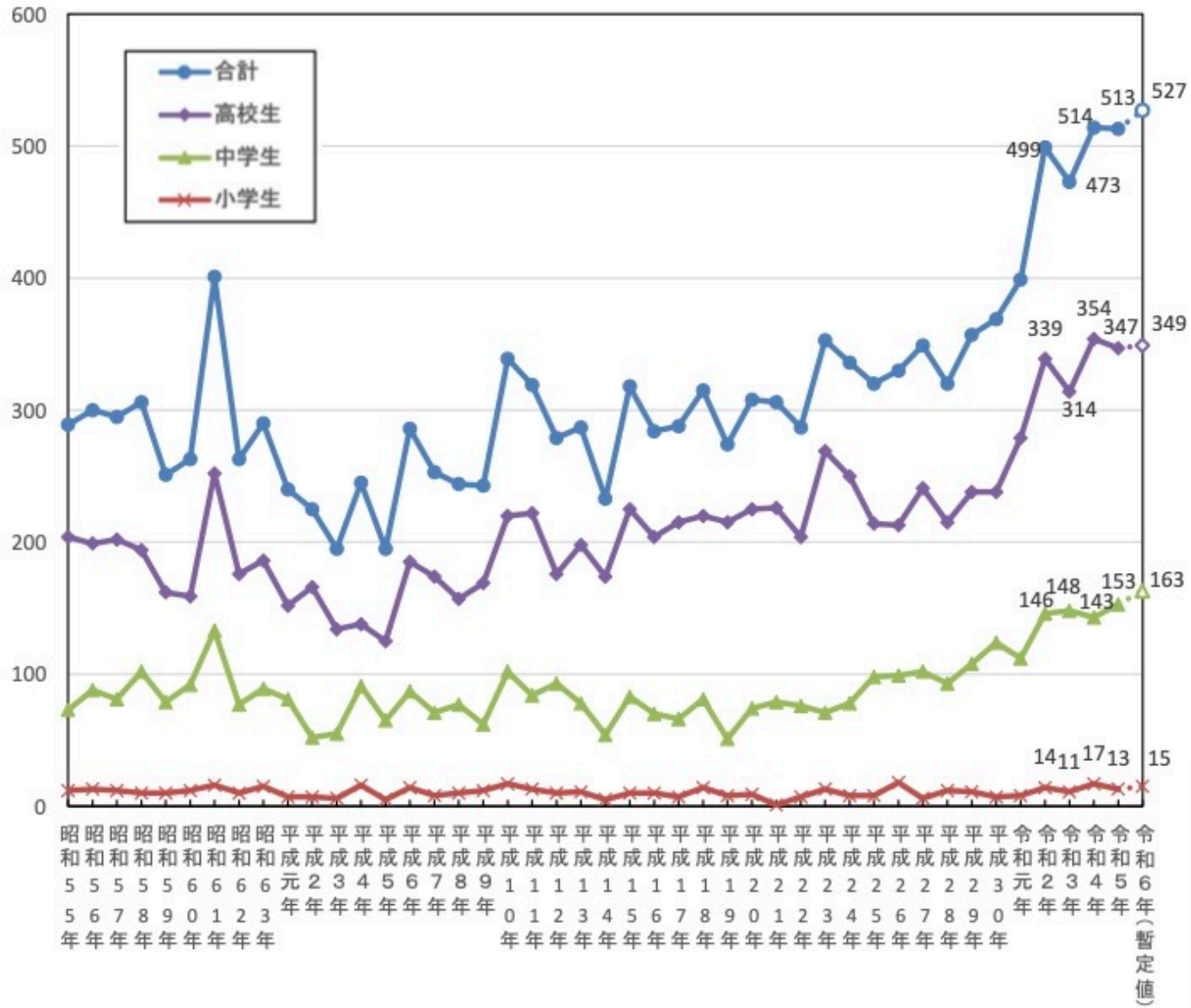
注) 世界保健機関資料 (2021年4月) から、2013年以降の人口と自殺者数が掲載されている国を対象に自殺死亡率を算出し、上位20か国を表示している。

資料: 世界保健機関資料 (2021年4月) より厚生労働省自殺対策推進室作成

# 小中高生の自殺者数の年次推移



自殺者数(人)



小中高生の自殺者数↑  
(過去最高)

自殺者数の前年差

	令和5年 (確定値)	令和6年 (暫定値)	前年差
小中高生	513人	527人	14
小学生	13人	15人	2
中学生	153人	163人	10
高校生	347人	349人	2

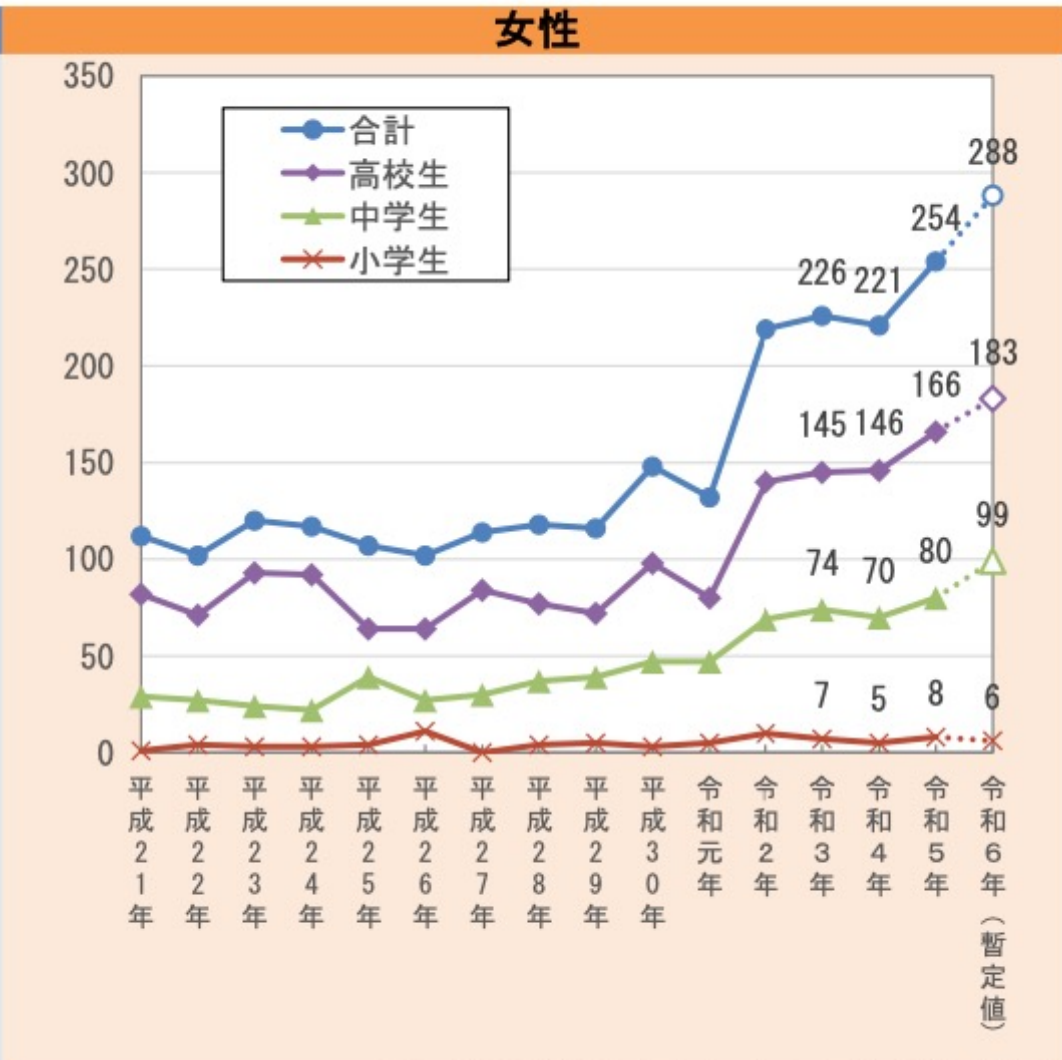
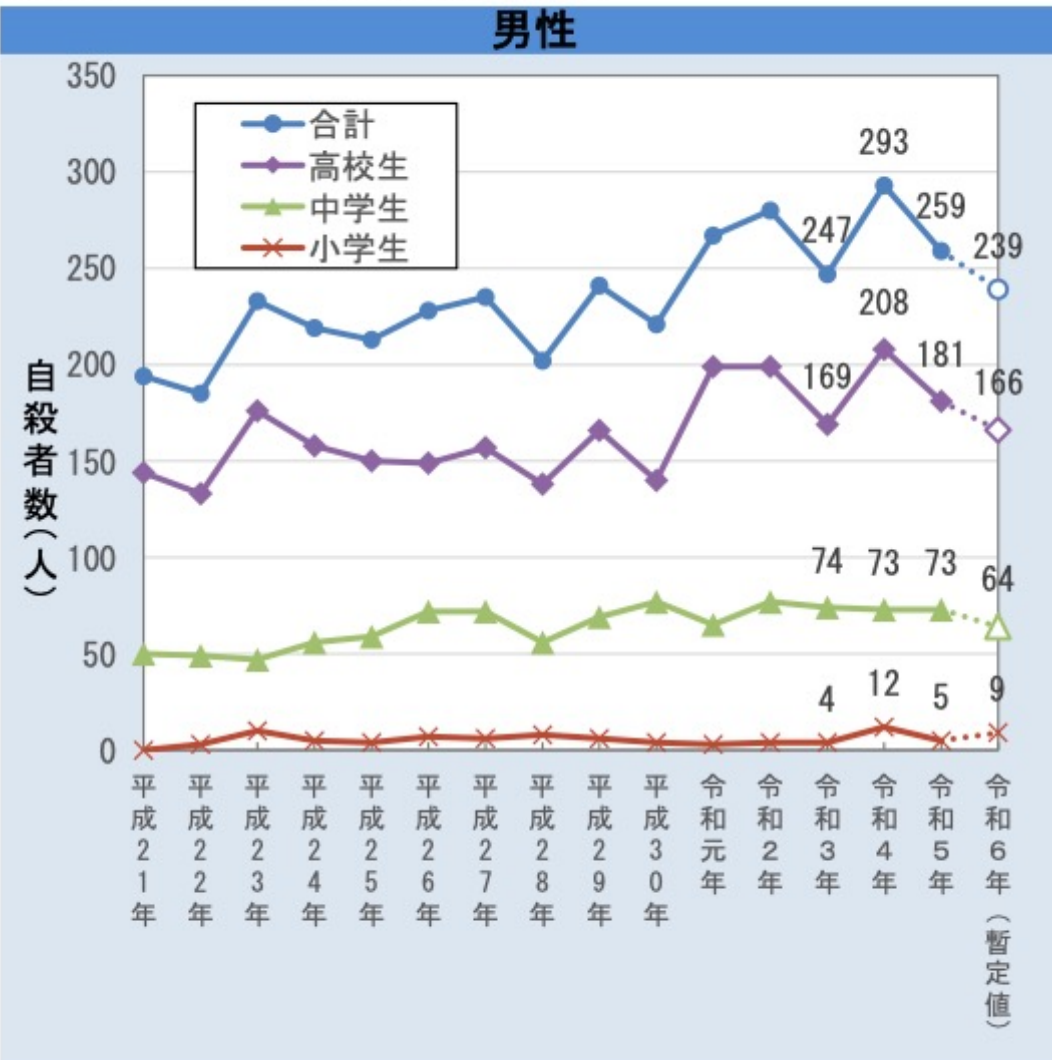
警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成





# 女子小中高生↑

小中高生の自殺者数の年次推移（性別）



警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成





## 10歳－19歳

	日本 2018				フランス 2016				ドイツ 2018				カナダ 2016			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	自	殺	602	5.4	不慮の事故	412	5.2	不慮の事故	334	4.3	不慮の事故	276	7.0			
第2位	不慮の事故		304	2.7	悪性新生物	180	2.3	自	殺	192	2.5	自	殺	232	5.9	
第3位	悪性新生物		225	2.0	自	殺	152	1.9	悪性新生物	190	2.4	悪性新生物	104	2.6		

	アメリカ 2017				イギリス 2016				イタリア 2017				韓国（参考） 2019			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	不慮の事故		4,790	11.5	不慮の事故	329	4.4	不慮の事故	302	5.2	自	殺	298	5.9		
第2位	自	殺	3,005	7.2	悪性新生物	198	2.7	悪性新生物	192	3.3	不慮の事故	139	2.8			
第3位	他	殺	2,002	4.8	自	殺	165	2.2	自	殺	85	1.5	悪性新生物	109	2.2	

## 20歳－29歳

	日本 2018				フランス 2016				ドイツ 2018				カナダ 2016			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	自	殺	2,104	17.7	不慮の事故	1,030	13.8	不慮の事故	754	7.8	不慮の事故	1,071	23.6			
第2位	不慮の事故		571	4.8	自	殺	575	7.7	自	殺	714	7.3	自	殺	609	13.4
第3位	悪性新生物		400	3.4	悪性新生物	380	5.1	悪性新生物	409	4.2	悪性新生物	201	4.4			

	アメリカ 2017				イギリス 2016				イタリア 2017				韓国（参考） 2019			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	不慮の事故		22,111	49.9	不慮の事故	1,211	13.8	不慮の事故	727	11.6	自	殺	1,306	19.2		
第2位	自	殺	7,815	17.6	自	殺	741	8.5	自	殺	301	4.8	不慮の事故	357	5.3	
第3位	他	殺	6,114	13.8	悪性新生物	466	5.3	悪性新生物	290	4.6	悪性新生物	283	4.2			

注：1) 「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡者をいう。

2) 死因順位の分類は人口動態統計と同様、死因簡単分類表を用いた。

3) アメリカ・カナダの人口は世界保健機関資料より最新データが得られなかったため、最新の死亡データに合わせて各国の国勢調査データを利用した。

資料：世界保健機関資料（2021年4月）より厚生労働省自殺対策推進室作成

日本の10代、  
20代の死因  
第1位は自殺



# ゲートキーパーの推進について

「ゲートキーパー」とは...

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

気づき・声かけ

家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

つなぎ

早めに専門家に相談するように促す

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

※上記のうちどれか1つができるだけでも、悩んでいる方にとっては大きな支えになります。

## ＜普及促進に向けた主な取組＞

- 厚生労働省ホームページ「ゲートキーパーになろう！」の設置  
※ 「青年期向け」、「大人向け」と、年代に応じてわかりやすく説明。  
※ ゲートキーパーを支援するためのページも新設。
- 各自治体でのゲートキーパー養成研修
- 厚生労働省Twitterでの呼びかけ
- 自殺予防週間等における、全国での広報ポスター掲示、動画広告の配信
- 政府広報との連携による周知  
※ インターネットバナー広告、ラジオ番組、BS番組



自殺総合対策大綱において、国民の約3人に1人以上がゲートキーパーについて聞いたことがあるようにすることを目指している。

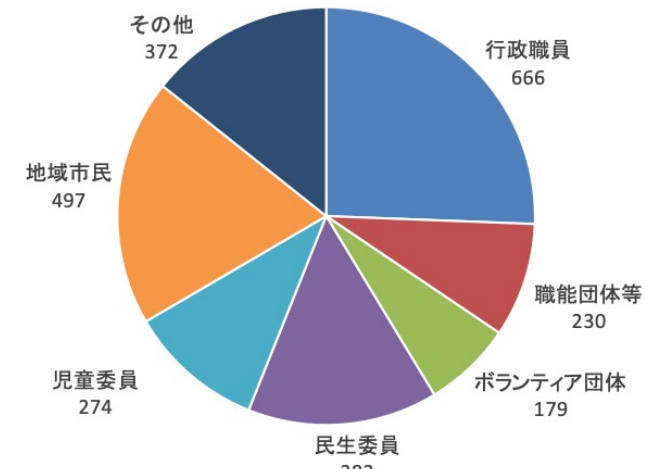
＞令和3年度自殺対策に関する意識調査（厚生労働省自殺対策推進室）における認知度は12.3%

## ＜各自治体における研修の実施状況＞

### ● 令和3年度 約18万5千人

※各自治体からの報告を自殺対策推進室において集計。  
※オンラインによる研修受講や研修動画の視聴を含む。

#### 受講対象者の属性



※数値は対象にしている都道府県と市町村の合計



# 発達障害のある子への療育

第5回 発達障害者支援研修:指導者養成研修パートI

2024.6.26

愛知県医療療育総合センター 子どものこころ科（児童精神科）

あいち発達障害者支援センター 副センター長

愛知県中央児童・障害者相談センター 児童専門監

吉川 徹

# 今日のお話

- 「療育」とは何か
- 発達障害の「療育」
- 「療育」に関わるかかりつけ医の役割



# 「療育」の目標

- その子の発達の道をすくすくと歩むこと
  - 発達障害の道を進んでいくこと
- そのために
  - 妨げを取り除くこと
  - 歩むことを手伝うこと

# 療育は何に効くのか

- 子どもの発達促進
- 子どものピアサポート
- 養育者のスキル獲得
- 養育者の育児観の変化
- 養育者のピアサポート

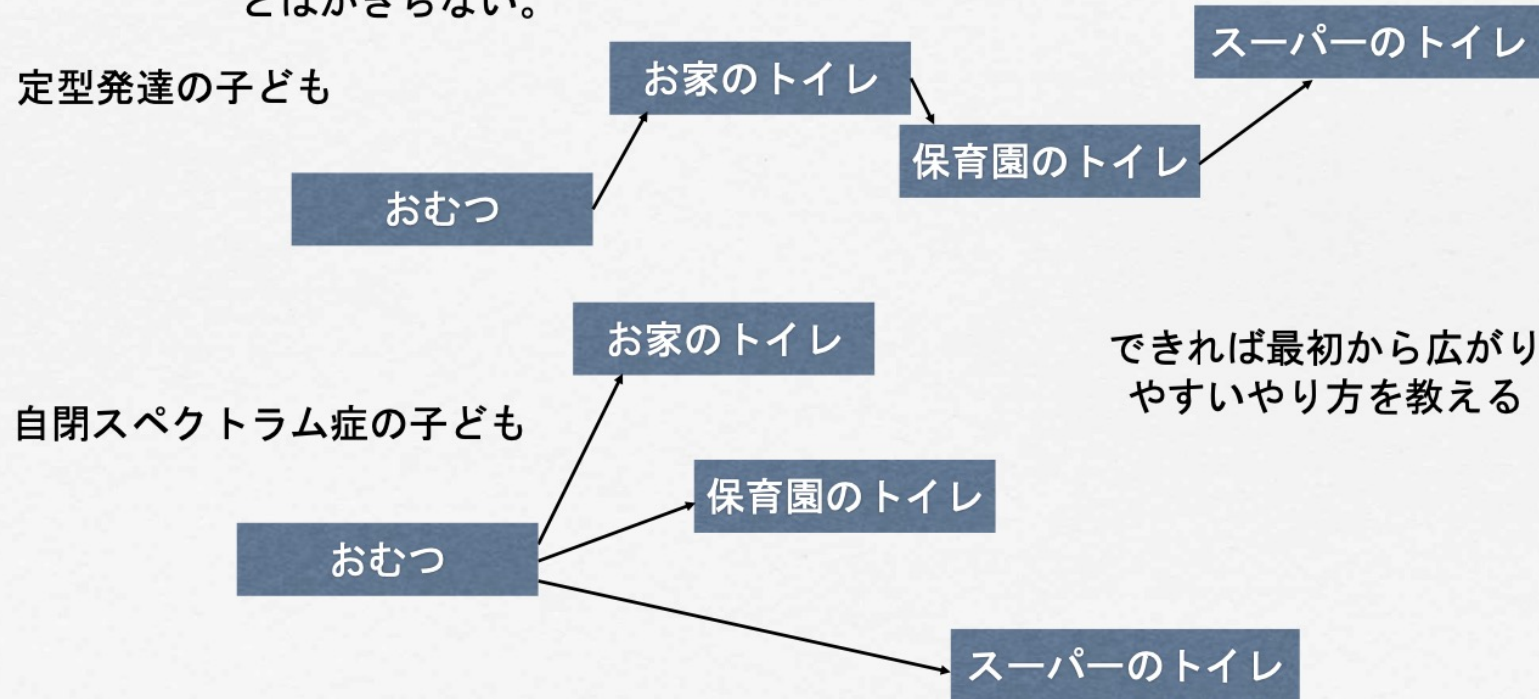


## 自閉スペクトラム症の症状とその根っ子

- 常同的・反復的行動
  - 「好きなもの」が増えにくい
    - 「嫌いなもの」が増えやすい
- 社会的コミュニケーションの障害
  - 「人づきあい」が動機になりにくい

# 「般化」の難しさ

- 一つの場所、一つの場面でできるようになったことが、他でもできるとはかぎらない。





# 「好きなもの」が増えにくい

- 理念形成の困難（内海 2015\*）
- 「これ、好きだな」
- 「こういうの、好きだな」

## 自閉スペクトラム症の症状とその根っ子

- 常同的・反復的行動
  - 「好きなもの」が増えにくい
    - 「嫌いなもの」が増えやすい
- 社会的コミュニケーションの障害
  - 「人づきあい」が動機になりにくい

社会的認知の障害



社会的動機づけの障害

背景にあるのは近年の諸領域での  
報酬系への注目



# 社会的動機づけの成り立ち

## 行動としての現れ

### 社交への指向性

- 生まれつきの「顔」への関心
- 社会的シグナルに自動的に気づく
- アイコンタクト

### 求めるもの - 好きなもの

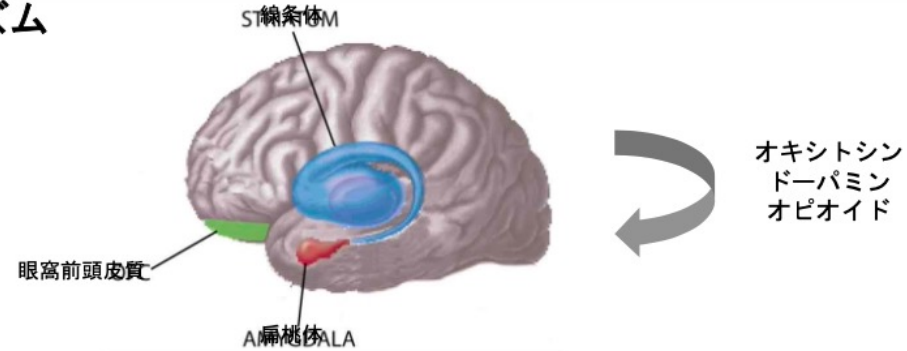
- 社会的報酬が動機になる
- 協力することへのプレッシャー
- 過剰な正当化効果\*

### 関係を保つ

- ご機嫌を取る
- 評判を保つ
- カメレオン効果\*\*

\* 好きな行動にご褒美をあげるとご褒美なしではあまりしなくなる  
\*\* 相手の真似をするとよい印象を与える

## 生物学的メカニズム



## 直接の原因

子孫の残しやすさにつながる  
協力的な活動への参加

- 集団での狩りと牧畜
- 食料採集
- 取引や物々交換

# 「嫌いなもの」が増えやすい

- （社会的）報酬が不足した状態で行動を強制される体験を積み重ねるから？
- 記憶力がよいから？
  - 忘れるのが苦手
  - 心的時間移動における特性（内藤 2018\*）

\*内藤美加 記憶の発達と心的時間移動:自閉スペクトラム症の未解決課題再考  
『発達障害の精神病理 I』 星和書店 (2018)

# 「好み」を作る

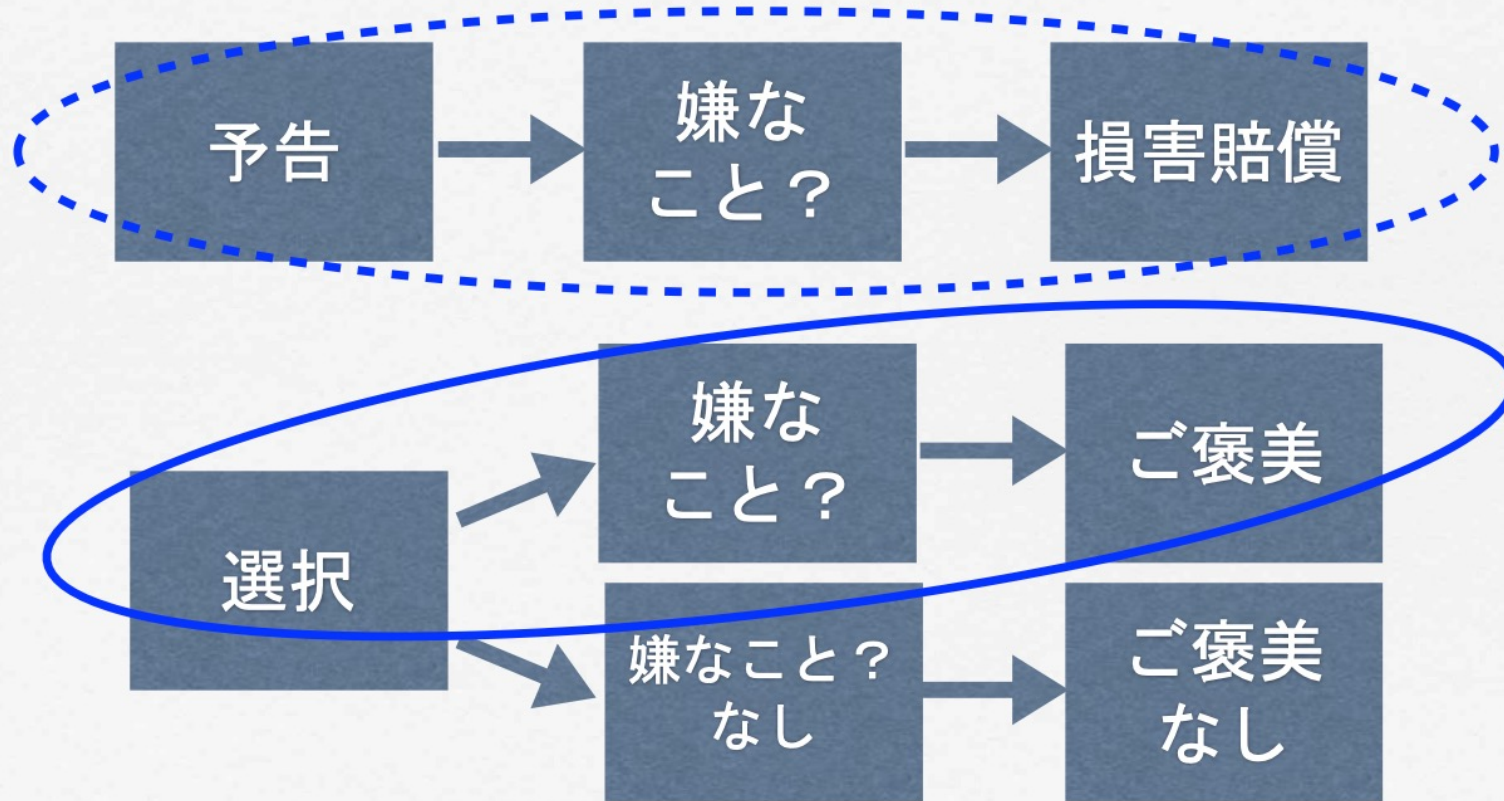
- 接していると好きになる（単純接触効果）
- 選んだものが好きになる（CIPC\*）
- 好きなものと一緒にあらわれたものが好きになる（対提示）
- 好きな人が好きなものが好きになる

\*choice induced preference change 選択による選好の変化



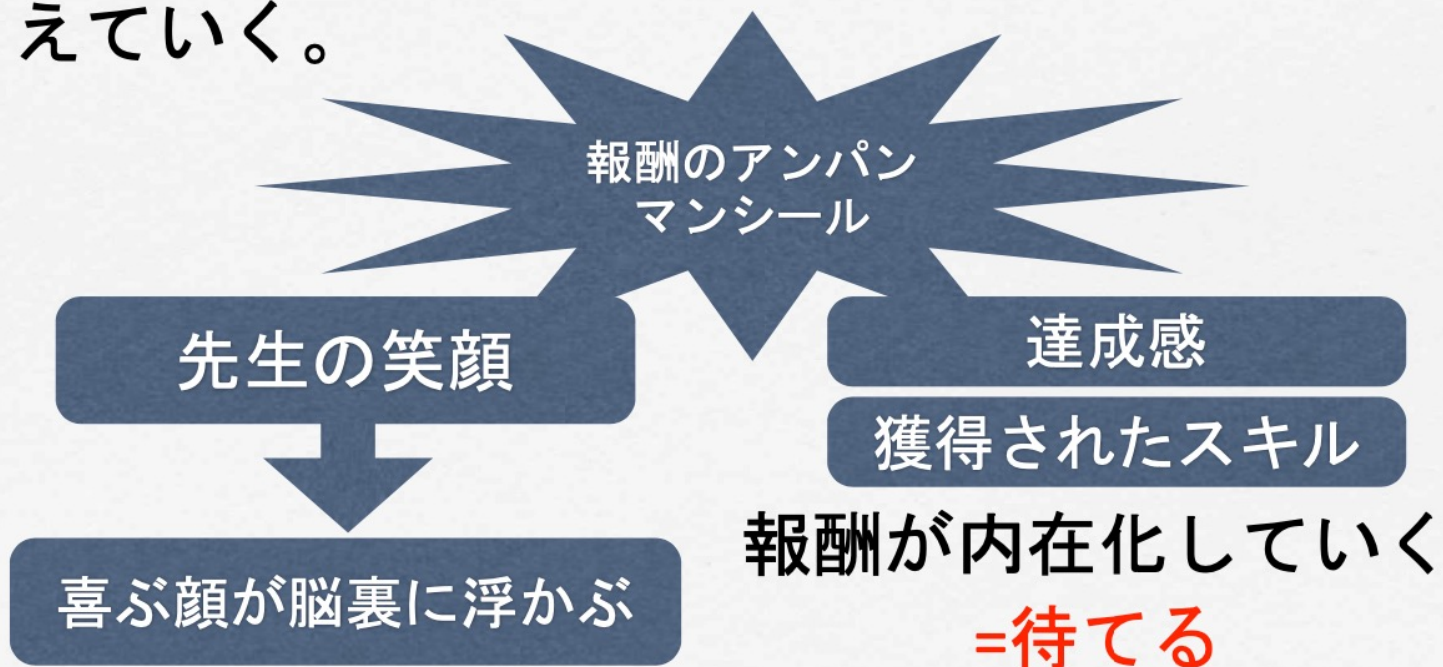
# 「ご褒美」と「損害賠償」

- 「好み」を作るのは？



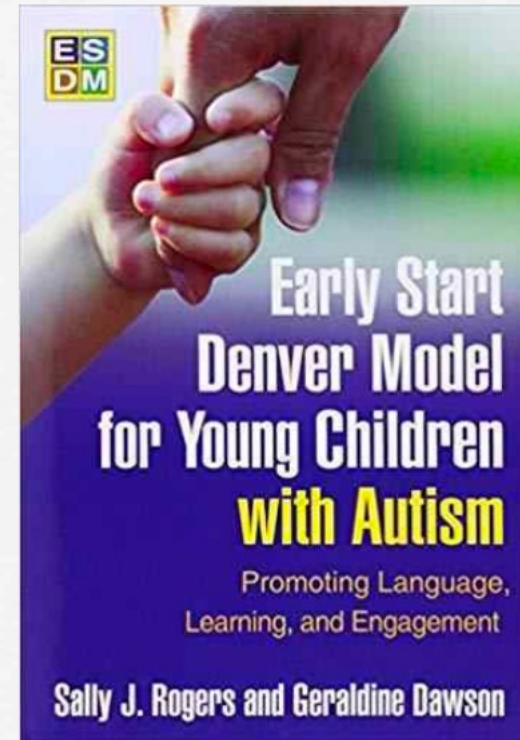
# 報酬は増えていく

一緒に与えることで、報酬になるものは増えていく。



# Early Start Denver Model

- 「ESDMのゴール」
  - 対人交流の報酬価値を強化する
  - 対人コミュニケーションスキルのレパートリーを増やす
  - 学習速度を上げる
  - 神経、心理面の発達における改変を予防する





## 早期介入のポイント

- 体を使って、やり取りをしながら、一緒に遊ぶ
- 真似ること、それ以前に真似られることを好きになること
- 求めると応じてもらえる関係を好きになること

`reciprocity of social interaction towards others'

`parental synchrony'

# 療育の課題

～ASDの場合～

- 主要な課題は「選好形成」ではないのか
  - 社会的報酬を受け取ることが好きになる
  - 手に入れたいもの、やりたい活動を増やす

# ADHDの基本的障害仮説

神経-生物学的  
基盤

実行機能回路障害

報酬系回路障害

心理学的  
プロセス

制止障害

報酬減退の  
遅延短縮

親の  
反応

実行機能障害

待つことの回避

行動表出

ADHD

周囲との関わり

Sonuga-Barke (2003)を改変



# ADHDの根っ子

- 計画を立てて、立てた計画の通りに進めていくことが難しい
- 「将来」のご褒美が魅力的に感じられない
- 退屈に人一倍弱い

# 療育の課題

～ADHDの場合～

- 主要な課題は「選好形成」ではないのか
  - 遅延報酬への選好の形成
    - 「待つ」ことが好きになる
  - 不注意に対抗するための選好形成
    - 好きなことにはそもそも集中できる

# 動機の不足を補う危険な方法

- 動機の不足を補うためについ周囲の大人は危険な方法に飛びつきたくなる
  - 強制、罰
  - ルーティン（常同性）
  - （自ら課した）ルール、理念

このような方法の使いすぎが大きなこじれのリスクとなる



「できること」より  
「やりたくなること」を目指す

- 子ども時代に「できる」ようにすることは  
難しくない
  - 力でのコントロール
  - 罰でのコントロール
  
- でも「できる」けど嫌いになる...

# 何をを目指すのか

- 歯磨きができる or 歯磨きがしたい
- 絵が描ける or 絵が描きたい
- 就労できる or 就労したい
- 自立できる or 自立したい
- 社会参加できる or 社会参加したい

# スキル獲得を「目標」にしない

- スキル獲得による課題の解決には、際限がない
- スキルの獲得はあくまで結果
- 育児観のシフトを合わせて目標に



# 成人期の「生活の質（QOL）」

自閉スペクトラム症成人の高いQOLを予測する因子（WHOQOL）

	プラスの影響	マイナスの影響
身体的領域	雇用されている	女性 精神疾患の診断 症状の強さ（SRS）
心理的領域		女性 精神疾患の診断 症状の強さ（SRS）
社会的関係	パートナーがいる 支援を受けている 高い教育歴	年齢 精神疾患の診断 症状の強さ（SRS）
環境	支援を受けている	女性 精神疾患の診断 症状の強さ（SRS）

Autism Research 11(8), 1138-1147.

# 余暇活動の重要性

- 自閉スペクトラム症のある人では余暇活動の満足度が低い
- 自閉スペクトラム症のある人の抑うつ症状の低さは高い余暇活動の満足度と関連している。

□ Autism 23(4), 993-1004.

# 自閉スペクトラム症のある子どもの趣味

アイルランドのデータ

	自閉スペクトラム症	定型発達
ビデオゲーム	23.3%	2.3%
フットボール・サッカー	11.6%	25.6%
読書・文章を書く	7%	9.3%
友達とスポーツ以外で遊ぶ	7%	0%
それ以外のスポーツ	7%	9.3%
TVやDVDの視聴	4.7%	2.3%
運動以外の活動 (ゴーカートなど)	4.7%	0%



# 余暇活動支援の「メニュー」

- ◻ 鉄友会
- ◻ アニメ漫画クラブ
- ◻ NBG！ーネスト・ボードゲームー
- ◻ Wiiであそぼう！
- ◻ マインクラフトの会
- ◻ イラストクラブ
- ◻ 今昔電遊伝GTーGame Talkー
- ◻ TRPGーテーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム
- ◻ 「アニメ見るかい？」
- ◻ モデルクラフト
- ◻ でこぼこ囲碁教室
- ◻ お料理・スイーツクラブ

その他、「こんな会があったらいいな」と思ったら、ぜひお問合せください！

# 「趣味トーク」

- 司会者がいて、
- ゆるやかなルール（持ち時間など）と最低限のマナーの中で、
- 自分の「好き」を共有する体験をすること

参考

加藤浩平ら「自閉スペクトラム症児の会話の特徴と話題との関連：アニメ・漫画・ゲームを題材にした「趣味トーク」の実践」  
東京学芸大学紀要. 総合教育科学系, 70(1): 489-497

# 「療育」の実証性

- 実証的研究に基づく技法
  - 実証的研究に基づいているように見せている技法
- 経験に基づく実践
- よくわからないいろいろ



# パッケージかエリメントか

- 包括的な療育技法も開発されている
  - TEACCH、ESDM、SCERTSなど
  - 実証的研究が進んでいるものもある
- パッケージは再現するのが難しい
  - 特に海外で開発されたものは

# 療育技法の見極め

- 評価はなかなか難しい
  - 広く普及しているが、学術的根拠に乏しいものもある
  - 学術的根拠があっても普及していない、原法通りに実施されていないものもある

# 名前のつかない「療育」

- 日本古来（？）の親子通園などによる「療育」は、実証的研究による支持は充分でないが、経験的なサポートはありそう。
- 実施機関による質の差は大きい。

# 発達支援の「5領域」

- 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定
  - 支援において、5領域(※)を全て含めた総合的な支援を提供することを基本とし、支援内容について事業所の個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化した上で提供することを求める《運営基準》
  - (※)「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」



# 親子通園の課題

- 養育者への知識・スキルの伝達場所としては優れている.....が
  - 養育者への負担があまりにも過大である
    - 一年間（以上）の通園の負担に耐えられる家庭は多くない
- 短期間で効率のよいペアレント・トレーニング、ペアレント・プログラムの必要性

# 家庭で行うEBP

- Pivotal Response Treatment (PRT)
- Early Start Denver Model (ESDM)
- Joint Attention, Symbolic Play, Engagement & Regulation (JASPER)

## 「療育」に関わるかかりつけ医の役割

- 「療育」の流れを作る
- 「療育」の評価を手伝う
- （「療育」の場を用意する）

# 「療育」の出発点

- 子育てに人手と工夫が要る子どもであることを理解することから
  - 好きなものを増やすために人手が要る
  - 嫌いなものを増やさないために人手が要る
  - 真似っこが苦手な子どもに「教える」ために人手が要る
  - 退屈させないために人手が要る



# 療育の場の必要条件と十分条件

- 必要条件
  - 妨げられなければ子どもは育つ
- 十分条件
  - 好きになれるような新しい刺激がそこにある

# 就学前の進路選択

- 課題
  - 要求が伝わる実感
  - 一緒に活動する楽しさ
  - 模倣のスキル
  - 「待つ」ことの価値の実感

# 就学前の進路選択

- 誰に「要求\*」できるのか
  - 主養育者・同居家族・非同居家族
  - 支援者 毎日？ 週1回？
  - 年長の子ども
  - 同級生

次は誰を頼りにして欲しいのか？

\*要求の方法はなんでもよい

# 就学前の進路選択

- 誰と一緒に楽しめるのか？
  - 大人と
  - 大人の仲立ちがあれば子どもと
  - 子どもと
  - 子ども達と

一人で遊ぶのも楽しいけど  
他の人と一緒に遊ぶと別の楽しみもあるよ



# 就学前の進路選択

- 進路の選択肢
  - 親子通園・親子分離
  - 単独通園
  - 保育園（加配 有・無） こども園
  - 幼稚園
  - 児童発達支援事業

年齢は二の次 課題で選ぶのが無難

# 就学時の進路選択

- 子どもの力が伸びやすい進路を選ぶ
- 評価のポイントは二つ（のみ）
  - どの学級を選ぶと、学校が、勉強が一番好きになれるそうか
  - 他児の真似をすることが好きか、得意か
- 知的発達の水準はこの時点では参考程度

# 就学時の進路選択

- 子どもの好みを見極める
  - 子どもがたくさんいるのが好き？
  - 関わりたいのは大人？ 子ども？
  - 挑戦したいのは難しい課題？ 易しい課題？

好きでない学校ではふんばりがきかない

## 「達成」より「挑戦」

- 大人が「達成」「完成」「勝利」がなにより好きだと子どもが勘違いすると、育児は難しくなる。
  - 「難しそうだからやらない」
  - 「どうせ失敗するからやらない」



## 子どもに知って欲しいこと

- 大人は「挑戦」が好きだということ
  - 「できるか、できないか」ではなく、「取りかかるかどうか」
  - 「できたら褒める」より「やり始めたら応援する」
- 大人は「完成」「達成」「勝利」には、それほど興味がないのだということ

子どもに知って欲しいこと

## 「失敗」なんてへっちゃらさ

- 大人がいつもとは違うことに「挑戦」して失敗する姿を子どもに見せること
- 再挑戦（して、時には成功する）する姿を見せること
- 「僕だって失敗してもいいんだ」

# 「背伸び」をするならば

- 周囲の大人は「挑戦」と「失敗」（ときに再挑戦で成功すること）を喜んでいるという実感を、子どもが持てること
- 周囲の子ども達が「挑戦」の価値を認めることができるように、仕向けていけること

# 就学時の進路選択

- 模倣のスキル
  - 皆と一緒にやりたい？
    - 好きなことを一緒にやりたい
    - 嫌いなことでも一緒にやりたい
  - 真似っこは得意？

大人から学ぶのか、子どもから学ぶのか



# 「放課後」の進路選択

- 放課後等デイサービス（事業）
  - 個別 or 集団
  - 短時間 or 長時間
  - 送迎 有 or 無
- メインストリーム「放課後子どもプラン」
  - 放課後児童健全育成事業（厚労省系）
  - 放課後子ども教室（文科省系事業）
  - 民間事業者

# 福祉と「療育」の相性

- 放課後・土曜日・長期休暇の居場所の保障
  - 継続性の高い居場所の保障
    - 安全な居場所の保障
      - 発達促進的な居場所の保障

# 技法よりパラダイム

- 課題をどこに設定するのか
- その課題を解決するための資源はどこにあるのか

# 地域の資源の現状を知ること

- それぞれの地域の「療育」資源の現状を知っておくことが、かかりつけ医の相談の基本
  - 主な流れを知っておくこと
  - 流れの妨げになる状況を知っておくこと



## 「呪いの言葉」を避ける

- 「〇〇ができるようになるために、療育を受けましょう」
- かかりつけ医の言葉が、養育者の焦燥と消耗に繋がることもある

## 地域資源に関する情報が 不足している場合

- 地域の主要な相談窓口に誘導する
  - 保健師
  - 相談支援専門員
  - (親の会)

## 「療育」に関わるかかりつけ医の役割

- 「療育」の流れを作る
- 「療育」の評価を手伝う
- （「療育」の場を用意する）

## 日常臨床における「療育」の評価

- 好きなものが増えてきているのか
  - 嫌いなものが増えてきていないか
- 本人の疲労が蓄積しすぎていないか
  - 家族の疲労が蓄積しすぎていないか
- 「こじれ」てきていないだろうか



# 「定点」を提供する

- 家庭での「療育」
  - 取り組んでいる課題を好きになっているか
- 通所等での「療育」
  - 楽しく通っているか
    - 通っている間に好きなものが増えているか

# 「できる」から「やりたい」へ

- 自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の本質（の少なくとも一部）は、動機づけに関する多数派との違い
- 専門家が、スキル獲得よりも選好の拡大に注目していることを繰り返し知らせることを通じて、家族の育児観に働きかける

## こじれの徴候に気づく

- 療育の効果を評価するのは極めて難しい
- 療育の「副作用」には気づきやすい
  - 嫌いなものが増えていないか
  - 疲れが貯まってきていないか

# 念頭に置くべきキーワード

- 「療育ネグレクト」
  - 子どもの「療育」に必要な資源の確保が十分になされていない
- 「療育虐待」
  - 「療育」の副作用を無視して邁進している



# 医療機関での「療育」

- (ペアレント・トレーニング)
- PT・OT・ST
- 訪問看護による「療育」

## まとめ

- 療育の定義を追求するのはやめよう
- 療育のための資源を集めることを勧めよう
- 療育が「こじれ」ていないかに気を配ろう



ご清聴ありがとうございました。

